

標 語

- 1. そなえよつねに (B. S)
 - 1. いつも元気 (C. S.) (モットー)
- スローガン
日々の善行



ち かい

私は名誉にかけて次の三条の実行を誓います。

- 1. 神(仏)と国とに誠を尽しおきてを守ります。
- 2. いつも他の人々を援けます。
- 3. 体を強くし心をすこやかに徳を養います。

「新春に当りスカウトに贈る。」 浜松市長 平山 博三

皆さん明けましておめでとうございます。

新春を迎え皆様の希望は大きくふくらみ、新鮮ではてしない夢が一杯であります。そして新しい年の今日の日に抱くこの大きな希望と計画は非常に尊いものであります。「果てしない人類の大きな希望」これは世界の完全平和であります。皆さんはその一翼を担い、世界各地においておこなわれている、スカウト運動に加わり親善の役割を果たしていただけるのであります。しかし事をなすにはまず「足下より固めよ」のたとえどおり、何事をなすにも基礎が強くなくては、これを完うする事は不可能であります。次代を担う皆様あらゆる試練を乗り切り苦難に耐えてスカウト運動に挺身しておられるわけですが、この尊い ※



【写真説明】三伏峠から荒川岳の新雪を眺む。山があるから山登りするのだとは正に名言。青少年の社会教育もスカウト運動なくして云い難し。今年も頑張ろう

※ 奉仕の精神は、私達大人にも、大いに学ばされるものがあります。市政においてもやはり人の心の暖かを知り、人の和をもつて、まず人を考え、明かるく住みよい福祉都市建設のための市政を推進することが要諦であると考えます。そして私も「すべての浜松市民の皆さんが明かるい楽しい日が訪れるまで限りなき前進に努めたい」とねがうものであります。どうか皆さんは、スカウトの「ちかい」をもち「おきて」を守り、人格の涵養と、公民教育を行われ、立派なスカウトとなられるよう希望して、新年のご挨拶といたします。

1963 年を迎えて

浜松地区委員長 内 田 六 郎

浜松地区ボーイスカウトの諸君、及びリーダーのみなさん、明けましておめでとうございます。

昨年は、木全前地区委員長の御逝去、つづいての御葬儀を始め、更に例年の数多くの年間活動行事等に、進んで協力奉仕していただき感謝であります。殊に八月下旬富士山麓御殿場でのアジアジャンボリーに際しては、その準備活動におけるお骨折り、その直前、奉仕隊に参加された諸君の並々ならぬご苦労、更にジャンボリー期間中の献身的なご指導に対し、心から御礼申し上げます次第であります。

又ジャンボリーに参加したスカウトの諸君も参観された諸君も、日頃の訓練を充分にいかし、国内各地区及び外国からの参加隊員との間に、友誼と親切とを、実行出来る機会を得て大いにスカウト精神を発揮、又、涵養し得た事と信じ欣ばる存する次第であります。

スカウトの諸君、ことし1963年を迎えるに当り、諸君は三つの「ちかい」をここにあらたに誓い、あらためて十二の「おきて」を反省、服膺して愈々長きスカウトになるよう眼切つて下さい。

又新春を迎えられたリーダーの諸君におかれても、池田首相の所謂人造りのもとは、青少年のスカウト運動を置いてほかにないとの信念の許に、今後とも困難に勝ち、苦悩を越えてスカ

ウトの訓育、指導に誇りを持つて邁進して下さることを、改めてお願いして新年のご挨拶といたします。

スカウト運動について

浜松市教育長 皆 川 英 夫

あの制服の少年少女が出て行くと、交通整理も集会の行列もきちんと整えられるということは、スカウトの様子や行動が、他の子供たちにはもとより大人たちにも、なにかすがすがしい好感が生ずるからだと思う。

大人だけではうまくゆかぬ世の中が、子供たちによつて調和が生まれるという事は、何かしら大人への反省をうながす今の世の中への暗示的、それはむしろ教訓的でさえある。これが私のスカウトへの感想の第一。次にスカウト自身の訓練という事。よわよわしい子供が整服だち、パリッとしても借り物みたいでおかしいし、第一ゼニのあるうちの子だからあの服が買えるんだよそから ひがまれては 何もならない、物ずきな大人の団員の高級なお道楽と貧乏人にひがまれますが、きびしい訓練で身体をねること、我まん強い子の先頭に立つこと。浜松のスカウトよがんばれ。第三に、御殿場のアジアジャンボリーに私も見学したが、沖縄は外人部隊に編入され、中国はタイワンであった。これは日本の国際的立場からも当然かもしれないが、甲子園の高校野球は、おきなわは日本の一つの代表であった。スカウトの国際親善の前途を思う時、平和は少年たちの手をつないでと願うのは、ひそかなる私のねがい。これが第三の感想

浜松地区顧問

浜松市長

平山 博三

新春
弥栄

1963年元旦

浜松地区協議会長

浜松地区委員長

内田 六郎

浜松市三組町45 電話②5954番



ボーイスカウト訓育とは 第2回 (浜松地区編)

ちかい

ちかいはBS教育の趣旨、目的、教育活動に賛成して、スカウトになろうとする者が、自発的に誓うものであります。

◎私 は名誉にかけて次の三条の実行を生命とします。自分の名誉を汚すものは自分を失うものであります。

世界のスカウト同志の結合は、ちかいを通じて兄弟愛を結ばれています。ちかいはBSに入る為のちかいであります。スカウトは常に信条としなければなりません。

一度ちかいを立ててスカウトになれば、終生、常にスカウトであります。従つてかりそめの約束事があつてはなりません。又一生自分を内省する鏡でなくてはなりません。

◎一 神 (仏)と国とに誠をつくしおきてを守ります。

宗教と国家を通じて縦の関係を持つ事です。宗教は何宗でも、何教でもよろしい要は信仰心を持つ事でありませぬ。

神(仏)大自然の摂理を信じ、自分の信ずるものに、そして国家に誠をつくします(他の宗教を決して排撃しない)

自分の国の大切さを知り、その国の為につくします。そして日常生活の物指しであるおきてを守ります。誠は人間美德百般の根源であります。

◎二 い つも他の人々を援けます。社会に対する奉仕をし、人と人とのつながりをつくります。他人を援

け、役にたつ事はスカウトの義務であります。

他の人を幸福にする事は即ち自分の幸福であります。これは、孔子のいう仁、仏教の慈悲、キリストの愛であります。古語に自分を殺して仁をなすといわれています。

BS創始者のB-P卿は「スカウトの義務は有為の人物となつて、他人を援けるにある」といつています。

◎三 体 を強くし、心をすこやかに徳を養います。

スカウトは、智育、徳育、体育により自

己の充実につとめます。

健全なる心は、健全なる身体に宿ると言われている通り、身体を丈夫にし、汚れない心を育て徳を養う事につとめます。身心共に健全にして初めて人を援ける事が出来る訳です。従つて国民としての責任を全うする事が出来ます。

スカウトは、二者の内、何れをなすべきかの撰択に困つた場合「いづれが他人に最も最善であるか」をよく考え其の一つを断固として行つて行く。

おきて

おきてはよき公民になる為の生活規範として、スカウトが常時実行する道しるべについて、成文化し明示したものであります。

スカウトは、スカウティングに入つたその時から、そのおきてが、日々の思考と行動の指針となります。世界中のスカウトが皆この線に沿つて、人格の完成につとめる所に兄弟のつながりがあるのです。これを実行しているか、いないかで、よいスカウトであるかどうか判定出来ます。

常々これを実行する事によつて、人としての道を正しく歩く事が出来ます。スカウトの日々の言動のよりどころであります。

1、**ス** カウトは誠実である。信用され得る人にのみ与えられます。うそを言わず、ごまかしをせず、信頼され、託された事は正確に行う事などは全てスカウトの名誉を保つ基礎であります。

2、**ス** カウトは忠節をつくす。スカウトは義務をつくすべき相手に対し常に真心を以つて忠実に義務を果します。国家には忠誠、社会や家庭に忠実、両親には孝行でなければなりません。自分の利益や我侭の為この義務を怠るものはスカウトではありません。忠とはまこと、節は志をかえない事でありませぬ。

3、**ス** カウトは人の力になる。スカウトは何時でも人を援ける用意があります。不時の災厄に善処し

人命救急、負傷者看護等にそなえ、平素は進んで家事の手伝いや、社会に恩返し

の心で、毎日少くとも一つ以上の善行を行い社会に奉仕する事になつています。そしてその報いを求めません。初代総長の後藤新平氏は、人のお世話をするように、そして報いを求めぬようにと言われました。よい事をして報いを求める事は、それは商取引となつて、決して善行ではありません。

4、**ス** カウトは友誼に厚い。スカウトはすべての人を友達と思い、すべてのスカウトを兄弟として正しい、明るい社会をつくる事に努力しています。

善隣愛の実践者でなくてはなりません。人種的、宗教的、階級的に排他意識を持つ事を許しません。動植物をさえ友達としていたります。

国際友好、真の平和の先駆者でなくてはなりません。人生より友誼を除けば、恰も世界より太陽を除くに均し、シセロ

5、**ス** カウトは礼儀正しい。スカウトは長上を敬い、何人をもさげすみません。どんな人にも不愉快を与えないで丁寧に接します。和やかに人に接すれば、不快感はありません。

6、**ス** カウトは親切である。スカウトはすべての人、とりわけ、婦人、老人、病人、助けのない人達に親切につくします。動植物はもとより、一般の品物に対しても親切に取扱わなくてはなりません。マツチ一本、鉛筆一本にもそれぞれの使命と生命がある事を自覚しなくてはなりません。

7、**ス** カウトは従順である。スカウトは両親や先生、隊長班長、其の他長上の人には素直に服従します。又法律や、公の決定、きまりは必ず守ります。従順は秩序を守る。従順でない者の居る所に平和はない。

8、**ス** カウトは快活である。(三面へつづく)

新 春 弥 栄

58年 元旦

浜松第十団々委員長

刑 部 正 三

浜松市馬郡三四〇八

浜松地区財政委員長

近 藤 勝 彦

浜松市東田町四
電話 ③二二八一番

浜松地区指導者養成委員長
浜松第一団育成会副会長

吉 沢 純 道

浜松市成子町一三(法林寺)
電話 ②二四五一番

浜松地区組織拡張委員長
浜松第一団々委員長

鈴 木 三 郎

浜松市平田町一〇二
電話 ②五五九六番

(二面よりのつづき)
スカウトはいつでも朗かで笑顔を忘れません。
受けた命令や指図には喜んで従い、どんな困難な仕事も進んで実行し、不平不満は決して言いません。言い訳するのはスカウトらしくありません。
言語動作をはつきりします。
真の快活は、から騒ぎと違います。はき違えない様になくなくてはなりません。

9、**ス** カウトは質素である。
スカウトはぜいたくをしません。物についても、時間についても無駄をしません。
常に節約を心して、後日に備えます。それは自分の為ばかりでなく、他の人の為にも役立つからです。
持ち物は一切実用第一です。
節約と吝嗇とは紙一重ですがよく注意を要します。

10、**ス** カウトは勇敢である。
スカウトは危険を恐れず、笑って困難にあたります。又正義の為に他人の嘲笑や冷罵を意とせず、甘言や脅迫に動かされない。そして後に悔を残さない。
◆最も勇ましい行為とは、最も困難な事に当る行為なり◆
メーテルリンク

11、**ス** カウトは純潔である。
スカウトは体も、心も、行いも、常に清いよい習慣をつけ、上品な言葉を使い、正しい楽しみを持ち、立派な仲間や友達を選んで交際します。
教養の深さは其の人の言行によつて知る事が出来ます。世の中の多くの人が純潔であれば、社会は常に清らかで明るくなります。
◆菩提清涼の月は、ひつきよう空に遊ぶ衆生の心 水浄ければ、菩提の影、中に現ず◆
華嚴經

12、**ス** カウトはつつしみ深い。
スカウトは信仰の心篤く、そのつとめに励みます。然も、謙譲の心を失わず、他人の信仰や主張や風俗を軽んじるような事をしません。
◆謙譲なる遠慮には言葉以上の引力あり 無言の演説は、純なる真の雄弁なり◆
ゴールド・スミス

おきてはすべて自律であり、ちかいは自発意志に基づくものでなくてはなりません。

指導者は常に、ちかい、おきての各条を十分に、よく理解させなければなりません。
すべて他律は弱いものでありますが、自律は非常に強い力を有します。

(以下次号につづく)

予告 第7期東海実修所開設

第7期の東海実修所は昭和38年6月初旬静岡市外赤沢山道場で開設の予定です。久方ぶりの事ですから入所希望者が多くある事と思います。従つて厳選されるものと予想されます。浜松地区からの入所希望者は今のうちから心掛けて、その内意はお申出下さい。早く手続きして置きたいと思ひます。

賀正 コーラスに集ろう

くちびるに歌を求めることは身心共に愉快なものです。新しい希望にみちた年を迎え、兎のように元気よくうたい躍びまわろう。
毎週水曜日午後7時 於第1幼稚園
指導 長柄弘道先生、武蔵野音楽大学出身 袋井高校に籍をおき、いそがしい時間をさいて毎水曜日指導に来られます

資格は問いません。リーダー、シニヤ・クラスは勿論、友人、ガールフレンドでも可、集まろう。希望者は地区事務所へ一報、又直接お出かけ下さい。会費は月額100円(資料代金)

廃品回収に労力奉仕

浜名2団BS隊は昨年暮23日(日曜日)を利用、町婦人会に協力、年末助け合い運動の一環である廃品回収を手伝い、成果を挙げた。尚S隊は三輪運転をして協力した。

ガールスカウト合同 クリスマスパーティー

12月23日浜松市住吉町青少年の家でGS合同パーティーが盛大に行われた。参する団は、磐田より遠来の7団を始め13団、16団、24団の少女達。
1、30開始、平山浜松市長を始め来賓を迎えて開始され一部は式典、二部は歌劇等で大賑わい、4時の終了時刻迄和気あいあいとして楽しく過した。BSの集いと異なりGSの持つ雰囲気は誠に和やかで陽気なものであつた。
BSから代表として宮沢、内田嘉が参列して聊か祝辞を述べた。



どうしたら よいでしょうか

(中学生の長男が姉や弟に暴力をふるつたり、親に反抗するので困ります。どうしたらよいでしょうか)
思春期になると、子供は生理的にも心理的にも、急激な成長をはじめます。こうした時期に子供の自尊心をきずつけるような取扱いをすると、猛烈な反抗を示すものです。
まずお子さんの劣等感にふれるようなことは皆が気をつけて、避けるようにしよう。

その上で長所を認めてやるようにすればお子さんは、自分というものに自信をもつようになり、安心感が出来て、やがては他人に対してもやさしくするという心のゆとりができてきます。
ただ気をつけたい事は、長男だということで、特別扱いにして、増長させてはいけないという事です。
民主主義の世の中であることは学校でもよく学んで知っている筈ですから、何で(四面へつづく)

新春 弥 栄

1963年 元旦

浜名第五団育成会長

増尾正七

浜名郡湖西町新所原梅田
電話(湖西)八〇七五番

浜松第六団々委員長

土屋為吉

浜松印刷社
浜松市東田町二二二
電話⑧〇九四〇番

弥 栄

浜松地区副委員長
浜松第七団年少隊長

宮沢広士

浜松市住吉町八六〇
電話②三三九五番

いつも元気

浜松地区特別委員長
浜松第一団育成会長

飯島政次

浜松市旅籠町五九
電話③〇七七三番

(三面よりのつづき)
も話し合つて、事を解決するようにしむけることです。
暴行癖のある少年の中には、ごくまれで

すが、性格異常からきている場合があります。これは専門家でないと容易に見つける事ができません。この為には少年保護センター、児童相談所等を利用する事

です。
詳しい事は地区事務所へお問合せ下さい。

街頭補導に参加して

BS 浜松4 副長 野 口

寒い北風の吹くクリスマス・イブの夜、変わった経験を持ちました。内田地区コミの名刺を片手に保護センターを訪ね、街頭補導に参加したのです。ガキ大将がガキを取締るなんて変なものです。

7時頃補導員のそろつたところで四班に分れ注意事項を聞き出発した。(第1班松菱中心繁華街、第2班遠鉄浜松駅中心国道の北、第3班国鉄駅の南、第4班は手薄なところ)僕は内山先生指導下3名の遊び班に加わりました。例年のイブの事を聞くと飲酒で補導される者が相当あるとの事。やいやい、これじゃクルシマスになりそうだ。市民会館→松菱劇場→有楽街を経てショッピングセンター通りに出る。(ドンチャンさわぎやシングルベルの音楽もなく、とても静かだ)玄忠寺→新川→浜松駅→八丁通り→松菱→柳通り→浜松座通り(時も大分すぎ人通りもはげしい。赤い顔をして帽子をかぶつた若者の群が行く。ふらふら歩いている学生が数人つかまる。口のきき方もぞんざいでなかには教会のミサに行つてきたとうそぶく者もあり思わずわらい出してしまつた。いくらなんだつてこの繁華街の横丁に教会のあるはずがない。服装のしつかりしてサツサと歩

く学生は用事の帰りなんかで大体外出許可証を持つている。)東洋劇場→⊕ビル→ダンスホール→五社神社(ダンスホールは満員でとてもおどれない。手を組み合つて腰をふつているだけおさががみの少女らしいのがいるが成人かも知れず先生も首をかしげている。五社神社では奥の方で砂利をふむ音がし、懐中電灯で照らしてみると、第1班の人達で大わらい。10時50分保護センターに到着。それぞれの班の状況を話し合う。他班でも補導された者は少なく、おとなしいクリスマス様なのでこれで街頭補導を打切る事にした。中学生の単独外出7時、父兄同伴の場合8時と決められており、これが徹底しているのだろう。父兄同伴でも派手な服装をさせたり、子供にパチンコを打たせている親もあつた。これらも悪を芽ばえさせるもただろう。家にいてもおもしろくないからと言つて出ている少年がほとんどだ。良い環境、よい遊び相手、これらがまだ少ないのではないだろうか? BS活動の重大さがあらためて考えさせられた。夜の社会見学をして、この経験を(特に補導される者の原因)BS活動に、又自分に生かせたい。今後も余裕のあるかぎり御手伝いしたいと思つている。

新 春

弥 栄

1963年 元旦

<p>浜松地区副協議会長 浜名第二団育成会長</p> <p>杉浦英一</p> <p>浜名郡新居町泉町 電話(新居)四七番</p>	<p>浜松地区行事副委員長</p> <p>加藤三良</p> <p>浜名郡新居町上田町</p>	<p>新春弥栄</p> <p>浜名第一団</p> <p>高柳十吉 藤山三喜 西田立乃 神田三喜 佐藤立乃 鈴木木 山田三喜 本谷平一 山目晃一</p>	<p>浜松地区野営委員長</p> <p>斎藤光夫</p> <p>浜名郡新居町源太山</p>
<p>浜松地区健康安全委員長</p> <p>妹尾銚作</p> <p>浜松市東田町三 電話③三三一五番</p>	<p>浜名第五団々委員長</p> <p>伊藤猛</p> <p>浜名郡湖西町新所原駅前</p>	<p>浜名第二団々委員長</p> <p>村田伊佐雄</p> <p>浜名郡新居町大倉戸三九五ノ二 電話(新居)二一〇番</p>	

襟を正す精神

日本連盟総長 三島通陽

アジアジャンボリーのとき、開会式がすんで、特にお出で下った荒木文部大臣をお見送りして自動車の手まで行つたときでした。荒木先生は、自動車に乗ろうとしながら「今日はボーイスカウトをまた見直しました」といわれましたので、私は「どこをみなおされたのですか」と聞きかえしますと「それはね、私達が皇太子殿下に従つて、開会式の式場へ入つたトタン、2万7千人のスカウトが一せいに、シユン々として、一つの気迫の圧力を感じたのです。こんな大きな会合では、近頃、ほとんど見られないことで実に立派なものだと思つたのです」といわれました。

子どもはさわりでもよい。遊ぶときは大いに遊び、はしやく

ときは、はしやく、うたうときはうたい、おどるときはおどつてよいのです。しかしあるときはこの一瞬にして、「しゆん」となる心がまえでなくては、だめだと思ひます。

日本には昔から「襟を正す」という言葉がありました。これは何かのとき、「気をつけの心持ちより、もつと深いしつかりした心がまえ」のことをいつているので、これのできない人間年がら年中ダラダラとしたり、グニヤグニヤしている人間というものは、決してつばな人間ではありません。

このきりつとした心がまえ「襟を正す心がまえ」はスカウトスピリットの発露の一つといえましよう。

「スカウト」新年号より

日本ギルウエルコースに学ぶ

牧野 績

私は1962年8月18日から8泊9日の訓練を栃木県の日連那須野営場で過した。入所を許可された者は全国で27名、当地区からは宮沢副委員長も一諸であつたので大変心強かつた。

ギルウエルコースは1919年、英国の指導者実修所として開設、英国ロンドンの北郊ギルウエルパークの一角にある処からギルウエルコースと呼ばれ、創始者ベーデン・パウエルの直流コースとして、国際コースの性格を持っている。

日本では1957年ギルウエルコースと同じものが日本の指導者多年の念願叶い、那須野営場で開設されたもので、第7期の開設であり、日本ギルウエルコースと呼ばれ、いわば日本分校のようなものである。米国やアジア諸国からも毎期

入所者が集つて来る権威のあるコースであります。

入所許された人々は各県から選ばれたベテランで私などは最年少の方であつた。

野営場は非常に管理が行き届いていて、さながら私達の到着を大手を開けて待つているかの様であつた。掲示板にはおきてに則して行動せよと、一日の日程が示されていた。6時起床に初まり、22時の消灯迄講義と作業でギツシ一杯にまつている。入所後の3日目あたりが、最も疲労の度が激しい苦しい一日であつた。其の後は慣れて来たのか大分楽になつた。

指導者養成講習会、実修所、ギルウエルコースとこの道の進むにつれて、今迄自分が行つて来たスカウティングの改良しなくては痛感した。常にスカウトはスマートネスであれ。指導者の態度は子供がすぐにマネをするものだ。子供の上に立つものはおろそかに出来ない。

服装や態度はその人の心をあらわす。ギルウエルではスマートネスという事を主要に考へている。服装が心を規整するユニフォームをきちんと着用する事によつて行動が規整される。毎朝の点検でしばしば服装についての叱言をもらう。

年令や社会的地位を預け、童心にかへつた私は終日スカウティングの勉強に励んだ。コースの全期間を通じて、知らず知らず知らずにやつて来た事が観察と感覚訓練である。B-Pの言葉に「もし他の人々と一諸にいる時、その人達が物の大きさや、遠近や、高低を見たのに、スカウト

たる君が見ないで過ぎたということがあつたとすれば、それはスカウトとして恥だという事を記憶されたい」と記してある。観察はスカウティングの基礎である。感覚、観察、パトローリングを中野忠八先生は、船隊の航海の体型であるといわれたそうである。感覚訓練には、視覚、聴覚、嗅覚、味覚の5感があるが、この外色彩感覚、形体感覚、時間感覚(タイミング)、速度、リズム、湿度、圧覚、重量覚等があり、そして総合(複合)感覚に第六感(インスピレーション)一推理判断が考慮されなければならない。

訓練法のカギはキムスゲームである。然しキムスゲームは記憶のゲームの変種に聴覚ゲーム、嗅覚ゲーム、味覚ゲーム触覚ゲーム、事件キム、夜間ゲーム、探偵キム、砂場キム、変装、異装、撥装、忍び寄り、方位、読地図、信号、救急法結索、計測等がある。自然観察、スケッチ、ノート筆記、野帳記録、設営と撤営ハイキング報告、等がありすべて観察が基礎をなすのである。

入所中30に近いセクションを終えて雷雨の中の一泊ハイイクに出かけ、道に迷い迷い、夜の10時頃漸く目的地に到着というナンセンスな想い出多い9日間を過ぎ、新しい日本をつくるようB-Pの教え、人を通じ、B-Pを通じ実修所で修得したものを基盤として進路を開拓したいと思ひます。

(六面へつづく)

性格智能テスト希望相談必ず角 医 院 内

角 加 苗

浜松市住吉町七
電話 ②四五八三番

浜松市第七団々委員長
浜松第七団年長隊長

新 春

弥 栄

1963年 元旦

柳 本 冬 彦

浜松市篠原一三番
電話(篠原)三五番

浜松地区副委員長
浜松第十団育成会長

早 川 与 市

浜松市高林町

浜松地区行事委員長
浜松第八団々委員長

内 田 時 世

浜松市高町九五
電話 ③三九六八番

浜松地区副委員長
浜松第四団々委員長

牧 野 八 郎

浜松市三組町

浜松地区進歩委員長

